

Words

春の待合室

小さな工場の駐車場の先、細い一本道を抜けるとそのお店がある。『待合室』という名前のドーナツ屋さん。うちの犬が猫の集会場を見に行きたがらなければ、きっとずっと気がつかなかった。

注文カウンターの右横には屋根付きのバス停を思わせる空間があり、そこにはいくつかのベンチと檸檬の植木鉢が置かれている。「檸檬って、待っていてくれると思っちゃう」と、いくつかの店主。月ごとに変わる3種類のドーナツから、今日は看板メニューの檸檬ドーナツを注文した。

天井から床まで真っ白に塗られた四角い部屋に、窓から溢れるほどの光が差し込む。ピチピチとドーナツを揚げる音が静かに響く。床に映った光が、ときおり揺れたり隠れたりするのを犬が見つめている。

ほのかに檸檬の香りがして、「お待たせ」と店主が声をかけてくれた。待ち合わせしていたような気持ちで「全然、待ってないですよ」と答えた。

待っているあいだの影の揺れかたが祝日の旗めいてあかるい

／織原禾

Profile

織原禾 Nogi Orihara

2024年より短歌を、
2025年より現代川柳
をやっています。

X: @ex_onwanainu

Coupon

フリーペーパーを手にしてくださった皆さまへ、ささやかなクーポンをご用意しました。

- クーポン内容：全商品 10%OFF
(最低購入金額 1,500 円)
- 有効期限：2026 年 9 月 30 日まで
- クーポンコード
- 使用回数：お一人様一回まで

BASE の購入手続き画面でクーポンコードを入力してご利用ください。

Back Number

Waterwheel Press のバックナンバーは
Sea Song Label の NOTE にてデータでご
覧いただけます。

vol.1 ではコーヒーのおすすめの淹れ
方などご紹介しています。

After Hours

予定よりもかなり遅れてしまったのですが、なんとか vol.2 を形にすることができました。

全部ひとりでやってみた vol.1 とは一転、表紙には根矢涼香さんのイラストを使用させていただきました。また、織原禾さんにも文章を寄せていただきました。おふたりともありがとうございました！

また、Table Music Meeting の石原さんと菜穂さんの力をお借りして完成させた楽曲「EVERYDAY」関連リリースも今回は内容が充実しています。この限られた紙面では紹介しきれませんが、ぜひ NOTE や BASE も覗いていただけると嬉しいです。

さらに、今回は山口洋佑さんの手による新しいコーヒー豆のパッケージも登場しました。

これからも Waterwheel Press はこんな風に皆さんのお力を借りながら、少しずつ世界を広げていきたいと思っています。もしよろしければ、今後も応援をどうぞよろしくお願いします。

Waterwheel Press vol.2

Apr 2026

Waterwheel Press はコーヒープランド
feather village coffee を運営する
Sea Song Label が発行する
フリーペーパーです

illustration by Ryoka Neya